

2019年8月15日



## 「千葉セクション」に関する声明

一般社団法人日本地質学会  
会 長 松田 博貴

2017年6月、日本の22機関32名からなる研究グループが、「千葉セクション」（千葉県市原市田淵の地層露出断面）を『国際境界模式層断面とポイント』（Global Stratotype Section and Point; GSSPと略記）の「下部-中部更新統境界GSSP」に認定されるよう、GSSPの認定機関である国際地質科学連合（IUGS）に提案しました。現在、IUGSによる認定審査プロセスは最終段階に入っております。今回の提案についての学術的説明と意義については、既に2018年7月1日に日本地質学会の見解をホームページに掲載し表明いたしました。

本提案に関わる「千葉セクション」および関連露頭は、地磁気の逆転に関わる研究を含む地質時代の決定に必要な調査研究や、それらに基づいた同地質時代の地球表層環境変動などの研究に関して重要性を有しており、国際的に見てもきわめて貴重な露頭です。今後の地質学の発展のためには、「千葉セクション」および関連露頭が学術的に誰もが自由かつ公平に議論できる環境が維持されることが重要です。日本地質学会は、今後も「千葉セクション」および関連露頭における研究により、地質学がさらなる発展を遂げることを期待しています。

本件に関するお問い合わせは、電子メールにて [main@geosociety.jp](mailto:main@geosociety.jp) までお願いいたします。